

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- 満期保有目的の債券…購入時の取得価格によっている。なお、取得価格と債券金額との
差額について重要性が乏しいため、償却原価法は採用していない。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- 個別法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- 造作については定額法、構築物及び器具及び備品については定率法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
- 退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
- 消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高 (6/3)	当期増加額 (6/4～7/3)	当期減少額 (6/4～7/3)	当期末残高 (7/3)
基本財産				
土 地	157,702,310	0	0	157,702,310
山 林	187,541,369	0	0	187,541,369
小 計	345,243,679	0	0	345,243,679
特定資産				
退職給付引当資産	22,081,480	0	10,000,000	12,081,480
林業文献基金	53,163,022	0	0	53,163,022
公益事業基金	220,000,000	0	0	220,000,000
事業準備資金	19,242,142	0	0	19,242,142
建替準備資金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	344,486,644	0	10,000,000	334,486,644
合 計	689,730,323	0	10,000,000	679,730,323

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高 (7/3)	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
土 地	157,702,310	(157,702,310)	(0)	-
山 林	187,541,369	(187,541,369)	(0)	-
小 計	345,243,679	(345,243,679)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	12,081,480	(0)	(0)	(12,081,480)
林業文献基金	53,163,022	(0)	(53,163,022)	(0)
公益事業基金	220,000,000	(0)	(220,000,000)	(0)
事業準備資金	19,242,142	(0)	(19,242,142)	(0)
建替準備資金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
小 計	334,486,644	(0)	(322,405,164)	(12,081,480)
合 計	679,730,323	(345,243,679)	(322,405,164)	(12,081,480)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高 (7/3)
造 作	2,653,385	414,808	2,238,577
構 築 物	510,000	424,370	85,630
器 具 備 品	12,109,946	7,172,856	4,937,090
合 計	15,273,331	8,012,034	7,261,297

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	時 価	評価損益
国債 159回号	119,980,605	106,450,370	-13,530,235
国債 179回号	87,987,400	70,288,440	-17,698,960
東京都債 (グリーンボンド)	10,000,000	9,803,000	-197,000
合 計	217,968,005	186,541,810	-31,426,195